



も み じ

第3号

【ホームページ】<http://akihaku-dai1.city-niigata.ed.jp>



～冬越ししたそら豆の花～

げんき土づくりに挑戦！

4月17日、ご家庭から野菜くずを持たせてもらったもみじ組とすみれ組の子どもたちは、朝から畑の土づくりを楽しみにしていました。

まず、野菜くずを小さくちぎります。ちぎりながらヘタや芯の部分、色から何の野菜か考えます。キャベツに人参、「これは僕が持ってきたかぼちゃの種だよ。」などと、おしゃべりをしながら野菜くずをちぎる手をせつせと動かします。余談ですが、人参のヘタやキャベツの芯の新芽が出てくる部分を「生長点」といいます。調理の際、普段は捨ててしまいがちだと思いますが、実は一番細胞分裂が盛んな場所で細かく切って使えば栄養満点なのだそうです。元気な体づくりは「食」から始まりますね。

それから、野菜くずをちぎった後は、シートをかぶせ、今度は木槌でたたきます。木槌を使うときは、大きく振り上げると「友達にぶつかるかもしれないよ。」と担任に声を掛けられながら、自分なりに調整しながらたたきました。

次に、この野菜くずを食べてげんきな土にしてくれるぼかし(=EM菌)を手のひらにのせてもらいました。においをかいで「なんかくさいよ。」「お醤油のにおいじゃない?」と感じたことを言葉にします。(実際には味噌のような発酵したにおいがします。)これまでの生活経験から何のにおいかに思いを巡らせていました。

最後にぼかしを野菜くずに混ぜ、子どもたち全員で踏みしめます。子どもたちの重みでぺちゃんこになった野菜くずを、畑の土に混ぜました。素手で土を混ぜる子どもたちには混ぜたときの土は「冷たい」と感じられたようです。

3日後、げんき土の様子を見に行きました。あんなにあった野菜くずが3分の1くらいに減っていました。そして、うっすらと白い菌ちゃんが出ていました。菌ちゃんが野菜くずを食べ、げんき土はホカホカに温かくなっていました。これから1ヶ月後、げんき土ができあがったら、いよいよ野菜の苗植えです。

5月16日の一六市に苗の買いに行く予定です。子どもたちも何の夏野菜を植えようかと相談中です。ぜひ、ご家庭でも野菜のことを話題にして会話を楽しんでみませんか。



年長組で、野菜くずの人参のヘタを水に浸して育ててみることにしました。

数日後、人参のヘタの生長点から葉っぱが伸びてきました。これをどうするか思案中！